

リフォーム前

■改修前状況

かつて施主の祖母が一人で暮らしていた家に、関東からUターンして来た孫世帯が住んでいた。家全体としては十分な広さがあるにもかかわらず、家族が集う空間は1階北側に位置し、暗く、面積的にも不十分であった。2階は階段が急で危険な為、全く利用されず物置となっていた。

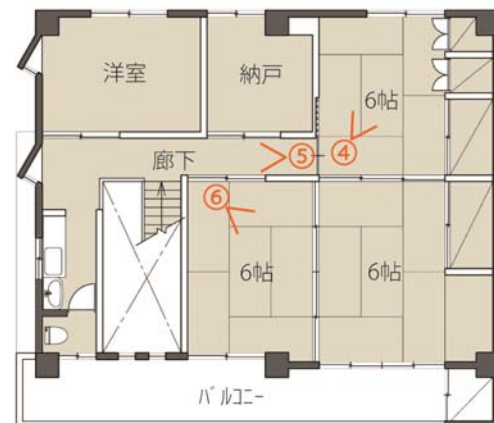
◆家族構成 夫婦+子供3人（小学生～幼稚園児）

◆敷地

敷地東側には山が迫り擁壁が聳える。
南側と西側には隣家が迫り、北側には小さな畑がある。

◆家の中心がない

間取りとしては区切られた部屋が連なっており、家族皆で過ごす中心が定まらない状況であった。



改修前2階平面図

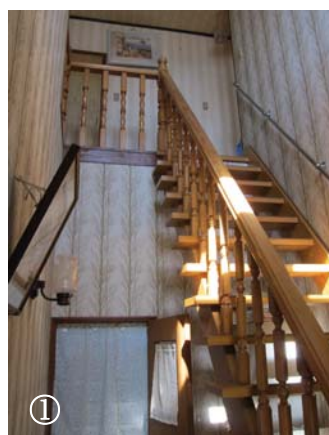


改修前1階平面図

※ 部と外壁はリフォーム対象外

※図面内数字は写真番号に対応し撮影位置を示す

- ①階段：急で危険な階段
- ②洋室：部屋が区切られている
- ③和室：暗く、視線が抜けるところがない
- ④2階北側和室6帖：雨漏りもひどく物置として使用
- ⑤2階廊下：2階は狭い廊下を迎える
- ⑥2階続き間：「陽だまり」が出来ている



リフォーム後

■家族が集う場所を定める

2階に上がってみると、遠くに山の稜線が見えるほど視界は開け、心地よい「陽だまり」が出来ていた。底は1.5m程あり、夏場の直射日光は遮られることも予想された。また、北側の畑にあるバナナの木も、1階のレベルで見ると影ばかりが強調されていたが、2階から見降ろすと綺麗な緑に映った。住宅密集地に位置するが、2階であれば、人眼を気にすることなく生活出来る。

よって、家族が最も長い時間を過ごすLDKを思い切って2階に上げ、光と風と緑を取り込むことにした。将来的に年を重ねたときの為に、キッチンの配管は1階にも残している。

■ボリュームと素材と光

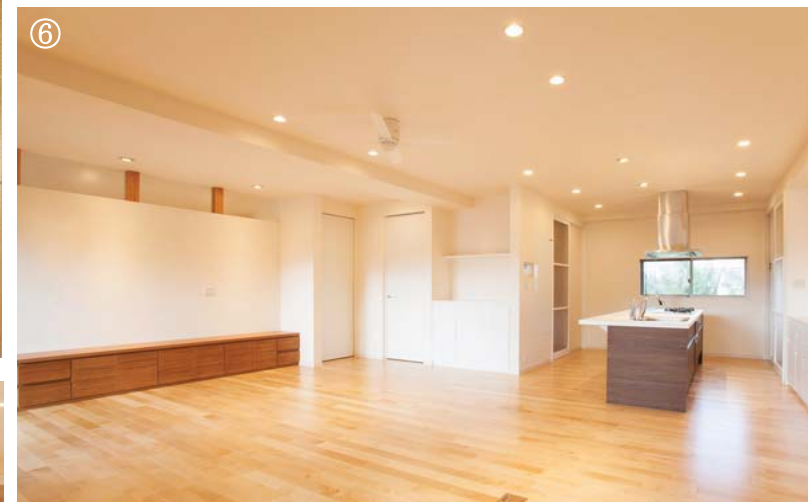
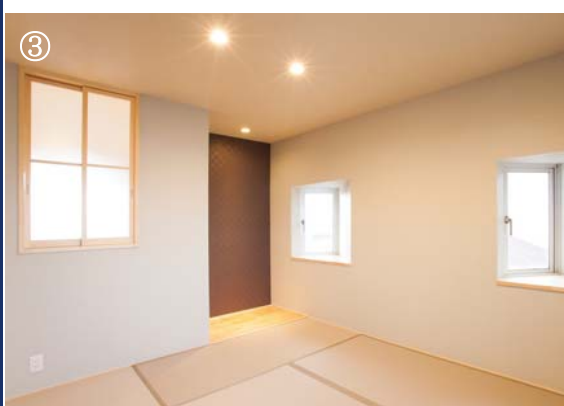
木、タイル、アクリル、和紙等様々な材料を組み合わせ、家の中のボリュームの干渉の仕方を多様にした。視線を跳ね返す程度や光の抜け方に変化を持たせ、空間から空間へといざなう工夫をした。



改修後2階平面図



改修後1階平面図



- ①階段：勾配を緩くして周り階段に
- ②キッズスペース：1階南面を大きく使って自由に遊べる空間に
- ③ゲストルーム：既存の窓もそのまま意匠に取り入れる
- ④階段ホール：子供達の手洗いもちょっとお洒落に
- ⑤家事室：木の温もりのある空間でレシピ作り
- ⑥LDK：階段にLDKの明りをこぼして2階へと誘う
- ⑦LDK：緩やかに傾斜させた壁面収納には様々なサイズのものが納められる

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	リフォーム内容
DORON建築設計事務所 岩下真奈美	DORON建築設計事務所 岩下真奈美	㈱宮田建築、平石左官 牧瀬木工所、宮春塗装 小倉電設、ソエタニ電気	35年	RC造	在来工法	平成28年1月	120日間	1,800万円	1階浴室・トイレを除く内部の全面改修 玄関サッシ及び傷みの激しいアルミサッシの取り替え 防水工事、塗装工事